

遙かなる甲子園

3月末、高校野球も佳境です。広島県からは市立呉高校が出場しました。二回戦で優勝候補の履正社（大阪）に1-0の僅差で敗れました。ところで、この選抜大会から、大会前の甲子園練習で女子部員がグラウンドで練習に参加できるようになりました。安全対策をとったうえで本塁以外の場所でノックのボールを手渡ししたり、タイムキーパーをしています。チームとともに汗を流してきた女子部員がグラウンドに立てたのです。

高校野球といえば、沖縄に北城ろう学校という学校がありました。1978年4月1日に開校し、1984年3月31日に閉校。6年間だけの学校です。開校1年目に中学部に150人が入学。2年目からは入学者はいません。上級生も下級生もいない1学年だけの学校です。

1964年、沖縄で風疹が大流行しました。罹患した妊婦さんが産んだ赤ちゃんの中には、心臓疾患、視覚障害、聴覚障害を持った赤ちゃんがいました。この聴覚障害者の子どもたちのために、沖縄県各地には難聴学級がたくさん設置されました。そして、この子たちの中学進学に合わせて北城ろう学校が開校しました。彼らが高校生になった時、16人の生徒が野球部を作りました。練習に励む中で部員は、他校と試合をし、甲子園に出たいと思い始めました。

しかし、当時の高野連の規定では、ろう学校は高野連に加盟できなかったのです。障害児学校の高等部が高校として認知されてなかったことが大きな理由ですが、野球関係者からは、打球音が聞こえないので「危険」、フライを追うときの掛け声が聞こえないので「危険」といわれました。

他の高校は練習相手になりたくても、未加盟であるろう学校との試合は禁止されていました。部員たちの試合をしたいという訴えが「日本聴力障害新聞」に取り上げられて、広く共感を呼び、沖縄県高野連を動かしました。近くの普天間高校、中部商業高校との加盟可否の試験試合を経て、加盟を認められました。

甲子園という夢が現実になった部員たちは今まで以上に練習に励みました。高校最後の夏、北城は初戦で宜野座高校と対戦しましたが、3-4で敗れました。練習試合では勝つこともありましたが、公式戦では一度も勝つことがなく、150人の卒業とともに学校は歴史を閉じました。

それから四半世紀たった2010年、学校教育法で定める高等学校なら「例外なく」加盟できると高野連は規定を改正しました。今年の甲子園の女子部員の姿は、かつての北城の球児と重なります。「願い」を待ち続けていけば、いずれ、「きまり」は変わるので



毎日新聞 3月14日



北城ろう学校記念碑（沖縄ろう学校内）

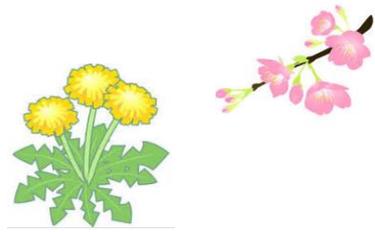
松岡正明さんフォトギャラリー



ののちゃん海へ行く



講座案内



お楽しみ講座

羊毛フェルトの こいのぼり



専用の針でチクチク刺して、「こいのぼり」を作ります。

体長；約12cm 台付きです。

当日、好きな色を選んで作ります。



日時	4月25日(火) 13:30~15:30
場所	支援センター会議室
講師	山縣 和子 さん
材料費	1,000円
締切り	4月18日(火)

お楽しみ講座

かずらの掛花入れ

14cmの木組みの上に、細めのかずらで編んだかごを付けます。



日時	5月9日(火) 13:30~15:30
場所	支援センター会議室
講師	桑田 眞江 さん
材料費	1,100円
持参物	エプロン・工作用はさみ メジャー又はものさし
締切り	5月2日(火)

交流サロンすまいる

「ぼたもち」を作りました。



3月は、楽しくぼたもちを作り、おいしく頂きました。
4月22日は、皆でおしゃべりを楽しみたいと思います。
10時から15時の間、時間を作って是非来てください。



お知らせ

5月のいきいき講座（健康教室・楽しい体操）は、お休みします。

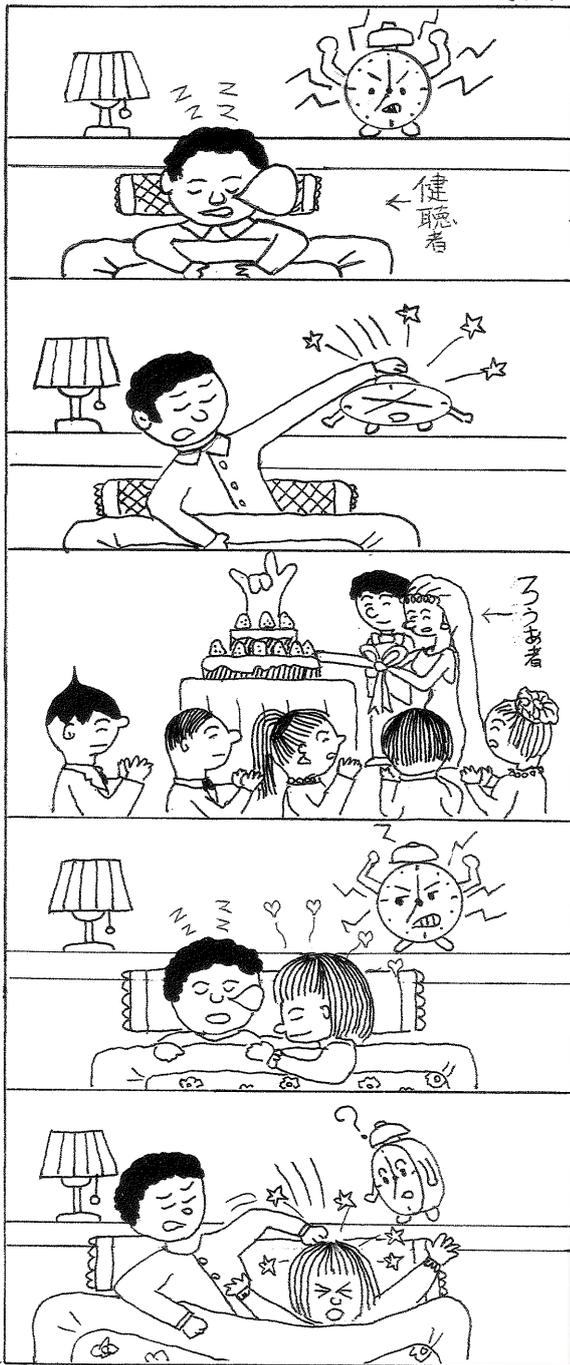
6月4日の、健康教室・楽しい体操はあります。

楽しみにして頂いてる方には申し訳ありません。

フクちゃん

目覚まし時計

ミンゴタケ
ミシマ



福山要約筆記サークル

さんりん車



『要約筆記』とは、聞こえにくい人(難聴者)や人生の途中で聞こえなくなった人(中途失聴者)に話の内容をその場で文字にして伝える筆記通訳です。

聴覚障がい者が社会とつながるためのコミュニケーション手段のひとつとして、手話とともに普及しています。要約筆記は、OHC・パソコン・紙とペン(ノートテイク)などの道具を使って、学校の授業参観や通院・会議や各種セミナー・講演会など、さまざまな場所で情報保障を行なっています。

昨今では高齢化社会が進み、日本語を使って通訳する要約筆記がますます重要視されています。また、映画やビデオに字幕をつける活動もしています。

毎月の定例会や研修会で勉強したり、福山市難聴者・中途失聴者協会の方々と交流しながら活動しています。

《定例会》 毎月 第1・第3水曜日

時間; 昼の部 10:00~12:00

夜の部 19:00~21:00

場所; すこやかセンター

勉強会; *字幕勉強会

*パソコン要約筆記勉強会

*音声入力(CAS)勉強会

CAS(キャス)ってなあに?



パソコンを活用した聴覚障がい者のための筆記通訳支援システムです。聞いた話を音声で入力し、修正は手書きで、文字情報として表示できます。さんりん車では2004年に導入し、学習を続け講演会などにも派遣で行っています。

~~福山市要約筆記ボランティア講習会があります~~

5月17日31日, 6月14日28日, 7月12日26日

8月2日9日23日30日, 9月6日(水曜日・全11回)

時間 10:00~15:00

場所 福山すこやかセンター

内容 ・手書きコース

・パソコンコース(パソコンが持参できる人)



4月

	月	火	水	木	金	土	日					
						1	2					
午前							要約 字幕 すこやかセンター					
午後											体操 支援C	PC要約 すこやか
夜間												
	3	4	5	6	7	8	9					
午前			休所									
午後			難聴者 手話教室 すこやかセンター			パソコン講座 支援センター						
夜間												
	10	11	12	13	14	15	16					
午前			休所				休所					
午後				要約筆記 CAS すこやかセンター	着物リメイク 1回目 支援C							
夜間				手話研修講座B 西部市民センター								
	17	18	19	20	21	22	23					
午前	手話研修講座A 深津コミュニティ		休所			交流サロン すまいる						
午後	スマホ使い方教室 支援C	手話研修講座A 北部市民センター	難聴者 読話教室 すこやかセンター		着物リメイク 2回目 支援C	支援センター						
夜間	手話研修講座B すこやかセンター											
	24	25	26	27	28	29	30					
午前	アロマトリートメント 支援C		休所									
午後		羊毛フェルト こいのぼり 支援C										
夜間												

5月	月	火	水	木	金	土	日			
	1	2	3	4	5	6	7			
午前			休所	休所	休所	休所	字幕			
午後			手話							PC要約
夜間										休所
	8	9	10	11	12	13	14			
午前										
午後		かずら	休所	CAS		パソコン				
夜間					手話研B					
	15	16	17	18	19	20	21			
午前	手話研A		休所				休所			
午後		手話研A	読話							
夜間	手話研B									
	22	23	24	25	26	27	28			
午前										
午後			休所			サロン すまいる				
夜間										
	29	30	31							
午前			休所							
午後										
夜間										

桜の開花宣言が北上しています。町のあちこちが桜色に染まるのが楽しみです。

支援センターの花壇には、近所にお住まいの方がくださったタンポポの苗が蕾を膨らませています。このタンポポ、黄色ではなくピンクの花を咲かせるそうで、職員一同、花が咲くのを楽しみにしています。

皆さんも、どうぞ見にいらしてください。



福山市聴覚障害者地域活動支援センター

〒720-0067 福山市西町1丁目19-2

TEL 084-973-8577

FAX 084-973-8578

e-mail info@fukuro1947.com

開所時間 9:00~17:00

休所日 毎週水曜日・毎月第3日曜日

祝日（ただし土・日の祝日は開所）

ホームページ <http://fukuro1947.com>